

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

解答範囲は、解答番号 から までです。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(注)

○B・アンダーソンはアメリカの政治学者。一九三六―二〇一五。○想像の共同体は想像の産物としての、国民国家という共同体。アンダーソンは同名の著書の中で、「国民」や「国家」はイメージとして心の中で想像されたものであると論じた。○国民国家は確定した領土をもち国民を主権者とする国家体制およびその概念。○桂秀実は批評家。一九四九。○言文一致運動は話し言葉に近いかたちで文章を書くことを推し進めた、思想・感情を自由・的確に表現するための文体革新運動。○シンタククスはある言語において、単語などの言語単位を配列して文を作る際の文法的規則の総体。ここでは比喩的に用いられている。○ラフカディオ・ハーンはギリシャ出身

(武田信明「個室」と「まなざし」による)

身の英文学者、小説家。日本に帰化して小泉八雲と名乗る。一八五〇～一八九〇。○灰のまきちらしてある〓石炭酸(石炭灰)の散布のこと。当時は線路の敷設の際、泥が噴出するのを防ぐために行われた。○中江兆民〓思想家。一八四七～一九〇一。○米利堅〓アメリカのこと。○濠洲〓オーストラリアのこと。○W・シヴェルプシユドドイツの思想家。一九四一～二〇二三。○ハインネ〓ハインリヒ・ハインネ。ドイツの詩人。一七九七～一八五六。○「クオ・ヴァリ・レヴェユ」〓一八〇九年三月にロンドンで創刊された文学・政治雑誌。

問一 傍線部⑦の㉔にあたる漢字を、次の各群のうちから一つずつ選びなさい。

解答番号 ～

㉔ ソウグウ ④ ③ ② ① 隅 遇 宮 偶	㉕ レッキョ ④ ③ ② ① 許 擧 拒 挙	㉖ ゼンシン ④ ③ ② ① 繕 善 漸 全	㉗ ジュウカン ④ ③ ② ① 縦 洪 従 重
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

問二 傍線部①「線路」が明治期の人々にもたらしたものと何ですか。その説明として明らかにふさわしくないものを一つ選びなさい。

解答番号

- ① 二本の鋼鉄の平行線として可視化された十九世紀以来の西洋文明。
- ② 視界の限界の向こう側に想像を超えた広大な空間があるという知。
- ③ 海に囲まれ、南北に細く延びる列島を繋ぎ合わせる交通システム。
- ④ いたるところにあり、どこまでも続くという「普遍」のイメージ。

問三 空欄 A と B を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号

- ① A 人類的 B 直感的
- ② A 地理学的 B 慣習的
- ③ A 幾何学的 B 啓蒙的
- ④ A 民俗学的 B 画期的

問四 傍線部②「ふしぎな思い」とありますが、ラフカディオ・ハーンの「赤い婚礼」に登場する「村の子どもたち」は、なぜそのような「思い」を抱いたのですか。その理由についての筆者の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

- ① 線路が視界の果てで没してしまっているにもかかわらず、なぜかそのままだけでも続いているような気がしたから。
- ② 日本全土へどこまでも繋がっている線路が、ほかでもないこの村になぜ敷設されるのかが分からなかったから。
- ③ 水平な二本の鉄の棒が延々とどこまでも続いているような光景は、これまで知っていた線路とは違っていたから。
- ④ 自分が生活するこの村が、西洋人が敷設する線路によって東京や京都へと続いていくのが信じられなかったから。

問五 空欄 X と Y を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号

- ① X なせならば Y そのかわり
- ② X むしろ Y したがって
- ③ X そもそも Y にもかかわらず
- ④ X 逆に Y つまり

問六 傍線部③「鉄道が空間と時間を抹殺する」を説明したものととして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

- ① 十九世紀ヨーロッパに登場した鉄道は、乗合馬車などのこれまでの交通技術では実現できなかった圧倒的な速度によって、空間や時間に関する人間の知覚の機能を喪失させたということ。
- ② 十九世紀ヨーロッパに登場した鉄道は、またたく間に日本やアメリカやオーストラリアへと普及したため、各国を隔てる空間や時間の長さが圧縮されて、世界を一つの国家のように人々に感じさせたということ。
- ③ 十九世紀ヨーロッパに登場した鉄道は、従来の移動手段とは比べものにならないほど速く進むため、移動のための空間の距離や時間の長さが消え去ったように人々に感じさせたということ。
- ④ 十九世紀ヨーロッパに登場した鉄道は、ドイツや北海といった旅の目的地へと乗客の空想を誘うことによって、旅行にかかる空間と時間の長さがなくなったかのように人々に感じさせたということ。

問七 傍線部④「なにがしかの政治性」を説明したものととして、明らかにふさわしくないものを一つ選びなさい。

解答番号

- ① 国家を統一するために、国民に空間意識の変容を求める働き。
- ② 同じ時期の明治国家の成立と軌を一にした、国民統合の働き。
- ③ 単一国家に属する国民という意識を、人々に定着させる働き。
- ④ 国民に「日本」という伝統的概念を、具体的に教示する働き。

問八 二重傍線部「抽象的な統一体としての『日本』」を説明したものととして、本文全体の内容を踏まえた上で最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 11

- ① どこまでも無限に延びる線路が体现する普遍性と、その上を走行する蒸気機関車が示す近代的な象徴性によって生成された、人々に共有されたイメージとしての空間のこと。
- ② 海に囲まれた島国として古くから存在してきた国土と、その国土の歴史性を体现する線路や蒸気機関車によって形作られた、人々に共有されたイメージとしての空間のこと。
- ③ 津々浦々にまで張り巡らされた二本の鉄の平行線としての線路と、そこを往来する蒸気機関車の速度とによって生み出された、人々に共有されたイメージとしての空間のこと。
- ④ 日本列島を構成するそれぞれの地方と、その各地方を短時間で結んで交流や発展を促す蒸気機関車とによって作り上げられた、人々に共有されたイメージとしての空間のこと。

問九 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 12

- ① 「日本人」という概念は、日本列島全体を鉄道網が覆った明治十年頃に人々に発見されたものであり、それ以前にはそうした抽象的概念は存在しなかった。
- ② ヨーロッパと比べて日本では、鉄道の登場以前に一般民衆が高速で移動する体験はほぼなかったため、鉄道の速度もたらした影響はより強いものだった。
- ③ 人々に「普遍」のイメージを与え、世界を「大家族の房室」と感じさせる鉄道は、国家という枠組みに縛られない意識を生むことで各国の交流を促した。
- ④ 明治期の人々とは違って、現在のわれわれは線路の存在をことさら意識しないが、それは鉄道が生み出す抽象的空間が透明化して希薄になったためである。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、本文中の傍点は原文についているものです。

【引用部分は削除しています】

←

【引用部分は削除しています】

(土田徹也「謝罪論」による)

(注) ○ハンナ・アーレントはドイツ出身、アメリカの政治哲学者。代表作に『全体主義の起源』、『人間の条件』などがある。一九〇六―一九七五。○『平沢直樹』は池井戸潤の小説をテレビドラマ化したもの。

問一 空欄 A と B を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号 13

- ① A 容赦 B 躊躇
- ② A 否認 B 容赦
- ③ A 躊躇 B 余儀
- ④ A 余儀 B 否認

問二 傍線部①「周囲の圧力」を説明したものととして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 14

- ① 第三者が、加害者の真摯な姿勢に感化され、被害者の心の区切りより先に、加害者を赦してしまうこと。
- ② 第三者が、加害者の謝罪を公正に見定め、これ以上の謝罪は不要と判断して、被害者に赦しを促すこと。
- ③ 第三者が、加害者の謝罪はもう十分と判断し、被害者の意志を無視して、加害者を赦すように迫ること。
- ④ 第三者が、加害者の苦しい立場に配慮し、被害者の意志を度外視して、両者の和解の可能性を探ること。

問三 傍線部②「赦しの行為は決して見えてこない」とありますが、その理由を説明したものととして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① 被害者が加害者を心から赦すためには、周囲の圧力をできるだけ排除し、被害者自身の意志や感情を尊重しなければならないが、そういう環境が整うのは徳性に近いことだから。
- ② 被害者が加害者を心から赦し、怒りや憎しみから解放されるには、それ相応の時間と公共的な援助が必要だが、それらを得られるかどうかは当事者には判断できないから。
- ③ 被害者が加害者を心から赦せるか否かは、被害者の意志だけでなく、感情の次元とも関わっており、その感情が自然に発露するかどうかは主体的には決められないから。
- ④ 加害者に対する怒りや憎しみから解放されるには、被害者が自分の意志で心の区切りをつける必要があるが、周囲の圧力がそれを無理強いしてることが多いから。

問四 傍線部③「その場で土下座をするように迫る」とありますが、主人公(平沢)の意図として、明らかに含まれないものを一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 大和田に自身の非を認めさせ、自発的に改心させようとする意図。
- ② 大和田の不正に対して自分なりの正義を実現しようとする意図。
- ③ 大和田が自分の父親に行った仕打ちに対して復讐しようとする意図。
- ④ 大和田によって傷つけられた父親と自分との尊厳を回復しようとする意図。

問五 空欄 X と Y を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号 17

- ① X 擁が外れる Y 自業自得の矛盾
- ② X 溜飲(りゅういん)が下がる Y 因果応報の秩序
- ③ X 胸が空く Y 論功行賞の形式
- ④ X 蟻(あま)りが消える Y 不言実行の美徳

問六 傍線部④「罰としての謝罪が常に被害者の精神面の修復に寄与するわけではない」とありますが、その理由を説明したものと、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 18

- ① 被害者が受けた精神的な損害を解消するには、屈辱を伴う形式的な謝罪だけではなく、加害者の心からの謝罪や改心が必要であるから。
- ② 加害者が強要され形式的に謝罪することで、被害者の心が晴れたとしても、加害者の恨みが残り、報復の連鎖を生み出してしまふから。
- ③ 被害者が受けた心の傷は、加害者がどんなに真摯に謝罪しても癒されることはなく、賠償や刑罰といった法的な手段によつて解決するしかないから。
- ④ 加害者に処罰を与え、復讐心を満たしたとしても、被害者が心から相手を赦し、怒りや憎しみから解放されるかどうかは保証できないから。

問七 傍線部⑤「処罰は赦しの代替物である」を説明したものと、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 19

- ① 正義の感覚に基づいて公共的なレベルで行われる処罰は、被害者が自発的に赦すことと同じように、報復の連鎖を断ち切る可能性があるということ。
- ② 公共的な刑罰の実行と、私的な復讐による赦しとは明確に区別することは難しいので、どちらも報復の連鎖を断ち切ることは困難であるということ。
- ③ 正義に基づいて定められた処罰は、加害者に恥の感情を与えることができるので、報復の連鎖を断ち切る可能性があるということ。
- ④ 強い要求や命令によつて加害者を処罰することは、被害者の精神面の修復には寄与しないので、報復の連鎖を断ち切ることは困難であるということ。

問八 この文章の内容に明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号 20

- ① 被害者が加害者を感情の次元で赦すこと、怒りや憎しみから解放されることは同義であると言える。
- ② 被害者が不正に対して義憤を覚える正義感、公共的なレベルで刑罰を実行する正義とは同義であると言える。
- ③ 半沢が大和田に強い土下座の処罰と、アーレントが説いた法に基づく処罰とは同義であるとは言えない。
- ④ 大和田が半沢に土下座すること、大和田が非を認め、改心することは同義であるとは言えない。

〔二〕左の文章は「うつつは物語」の一節です。清原俊隆(本文中では「父」は、遣唐使として唐へ渡る途中で船が難破し、異国の地へ漂着しました。そこで俊隆は、天人、仙人から琴の秘技を伝えられ、その後、長い年月を経て日本へ戻ってきました。これを読んで、後の問いに答えなさい。

かくて、おほやけにもかなはず、官位も辞して、三条の末、京極の大路に、広くおもしろき家を造りて、娘に琴を習はす。娘、一わたり楽一つを習ひて、一日に大曲五つ六つを習ひとりつ。同じくかき鳴らす声、父に勝る。父が弾く手、一つ残さず習ひとりつ。

このほど、家貧しくして、思ふほどにたてず。十二、三になる年、容貌(かたち)さらにも限りなし。あたり光り輝きて、見る人まばゆきまで見ゆ。心のらうらうじきこと、世に聞へ高くて、帝、東宮、父に召す。娘にも御文たまへど、われも御返事聞へず。娘にも御返しもせさせず。さらぬ上達部、親王たちは、まして御文見入るべくもあらず。「娘は天道にまかせてまつる。天の掟あらば、国母、女御ともなれ。掟なくば、山賊の子ともなれ。われれしく貧しき身なり。いかでか高き交らひはせさせむ」といひて、よき人のたまへど、耳にも聞き入れず。家の門はめぐりさして、帝、東宮の御文持たる御使ひ、すべての人の使ひは、あけたてば立ちなみたれど、出で入りもせず。ただ琴を習はしてありふるほどに、「おほやけにかなふまじきものなり」とて、治部卿かけたる宰相になされぬ。

かかるほどに、娘、十五歳になる年の二月には、はかに母かくれぬ。それを嘆くほどに、父病づきぬ。父、弱くおほゆるときに、娘を呼びていふやう、「われ、ありつる世には、わが子に高き交らひをもせさせむと思ひつれども、若くは知らぬ国に渡り、この国に帰りに来て、おほやけにもかなひ仕まつらばと経れば、貧しくて、わが子の行く先の掟せずなりぬ。天道にまかせ奉る。わが頼する莊々、はた多かれど、たれかいはひわく人あらむ。ありともたれかいはひまつはし知らせむ。ただし、命の後、女子のために、け近き宝とならむものを奉らむ」とのたまひて、近く呼び寄せて、よろづのことをいひて、「この家の乾の隅の方に、深く一丈掘れる穴あり。それが上下ほとりには、沈を積みて、この弾く琴の同じさまなる琴

錦の袋に入れたる一つ、襦の袋に入れたる一つ、錦のはなん風、襦のをはし風といふ。その琴、わがごと思さば、ゆめたふたふに人に見せたまふな。ただその琴をば、心になきものに思ひなして、長き世の宝なり。幸あらば、その幸極めむとき、極まる身ならば、その禍限りになりて、命極まり、また、虎狼熊鷹にまじりて、さすらへて、獸に身を施すべくおほえ、もしは伴の兵に身をあたへぬべく、もしは世の中に、いみじき目見たまひぬべからむときに、この琴をばかき鳴らしたまへもし子あらば、その子、十歳のうちに見たまはむに、聴く賢く、魂とのほり、容面、心、人に勝れたらば、それに預けたまへ」と遺言しおきて、絶え入りたまひぬ。また、同じころほひ、乳母も亡くなりぬ。

心と身を沈めしほどに、ことに身の徳もなく、久しくなりにしかば、まして一人の使ひ人も残らず、日にしがひて失せ滅びて、もの心も知らぬ娘一人残りて、ものおそろしくつつましければ、あるやうにもあらず、隠れ忍びてあれば、人もなきなめりと思ひて、よろづの往還の人は、宿とももほちどりつれば、ただ寝殿ひとつのみ、簀子もなくてあり。ほとんどなく野のやうになりぬれば、娘はただ、乳母の使ひける従者の、下屋に曹司してありけるを呼び使ひける。父ぬしのいひじこと、所々の莊より持て来しも、使ひやりなどしてはたり持て来しときこそありしか、かくむけになりぬれば、ただ預かりの者のよろこびにてやみぬ。はかなくうら使ふ調度なども、親たちの亡くなりけるさきき、とりかくしてしかば、みな失せてはにけり。

〔うつつは物語〕による

〔注〕 〇三条の末、京極の大路 〇京極の三条大路のはずれで、東京極大路の東側。 〇帝、東宮、父に召す 〇帝や東宮が配偶者として娘を宮廷に入れるように父に要請なさる。 〇天道 〇ここでは、森羅万象を支配する天の意思のこと。

〇国母 〇天皇の母を指す呼称。 〇よき人 〇身分の高い人。 〇あけたてば 〇夜が明けると。 〇かなふまじきものなり 〇ここでは、「適する人がいない」という意味から転じて「やはり必要な人だ」という意味。 〇治部卿 〇治部省の長官。治部省は雅楽、僧尼、葬礼、外交を掌る。 〇莊々 〇莊園、貴族や寺社の私的な領有地。 〇いはわく 〇はつきりとその事実を述べる。 〇命の後 〇わたしが死んだあと。 〇一丈 〇一尺の十倍。約三メートル。

○沈_シ沈香(香木の一種)のこと。○褐_{カク}見褐_{ミカク}、兎_ウの毛の織物。○たふたふに_{タフタフ}軽々しく。○伴_{トナリ}の兵_{ヘイ}徒_ト党_{トウ}を組んだ兵士たち。○實子_{トコノミ}緑間。○従者_{トウシャ}の、下屋_{カミヤ}に曹司_{ソウジ}してありける_シ粗末_{ソマツ}な建物に部屋住_{ヘヤジ}みしていた使_シ用_{ヨウ}人_{ニン}。○はたり_{ハタリ}督促_{トクソク}して取り立てて。○預_ヨかりの者_{モノ}庄園_{シヤウエン}を管理_{カンリ}している者。

問一 傍線部①「心のらうらうじきこと」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 21

- ① 謙虚で、父親の琴の技術をそのまま再現する素直さがあること。
- ② おおらかで、父親がずっと身近に置いておきたいと思う愛らしさがあること。
- ③ 親思いで、父親の言うことにはすべて従うような従順さがあること。
- ④ 気品があり、琴の技術をすくに覚えてしまうような利益さがあること。

問二 傍線部②「娘にも御文たまへど、われも御返事聞こえず、娘にも御返しもせさせず」とありますが、その理由として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 22

- ① 自分は貧しく蓄えもないため、娘を身分の高い人々と交際させることは難しく、娘の将来は、天の意思に任せようと考_カえていたから。
- ② 娘の琴の才能がすばらしいため、今は琴の技術を磨くことに専念させたいと思_{オモ}い、もつと琴が上手になれば、国母や女御_{メカミ}になれると考_カえていたから。
- ③ 娘の容貌_{ウツクシ}がとても美しいため、将来は天皇と結婚させることを考_カえており、そうすれば自分も朝廷に出仕できる可能性が高まると考_カえていたから。
- ④ 家が貧しくて娘を十分に養育_{ヤイク}することができないうえ、娘は琴にしか興味がないため、身分の低い者の妻になるのが適_タ当_{トウ}だと考_カえていたから。

問三 傍線部③「け近き宝とならむもの」が指すものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 23

- ① 今までに娘に教えた琴の技術
- ② 俊蔭が所有している多くの領地
- ③ 天の意思が定めた娘の将来
- ④ 屋敷の隅に埋めてある二つの琴

問四 傍線部④「あるやうにもあらず」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 24

- ① 他人から非難_{ヒナン}されることはないような様子で
- ② 人が住んでいるかどうかも分からない様子で
- ③ 長い年月が経ったようにも感じられる様子で
- ④ どのように暮らしたらいいのか困っている様子で

問五 傍線部⑤「なきなめり」は、「なきなんめり」の「ん」(撥音便)が表記されない形として説明されます。「なんめり」の部分について、撥音便になる前の形を文法的に説明したものととして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 25

- ① 完了の助動詞「ぬ」の未然形+推量の助動詞「む」の終止形+推定の助動詞「めり」の終止形
- ② 願望の助詞「なむ」+推定の助動詞「めり」の終止形
- ③ 断定の助動詞「なり」の連体形+推定の助動詞「めり」の終止形
- ④ 伝聞の助動詞「なり」の連体形+推定の助動詞「めり」の終止形

問六 傍線部⑥「父ぬしのいひしこと」とありますが、俊蔭が言った内容は、本文中のどの部分を指していますか。傍線部ア～エのうちから、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 26

- ① ア 掟_{オモ}なくば、山賤_{ヤマシ}、民の子ともなれ。
- ② イ 貧_{ヒナシ}しくて、わが子の行く先の掟_{オモ}せずなりぬ。天道にまかせ奉_{ホウ}る。
- ③ ウ わが領する庄々_{シヤシヤ}、はた多かれど、たれかはいひわく人あらむ。ありともたれかひまつはし知らせむ。
- ④ エ その琴、わがこと思_{オモ}さば、ゆめたふたふに人に見_ミせたまふな。

問七 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 27

- ① 俊蔭の家は貧しかったため、娘をなんとかして高貴な人と結婚させようと思_{オモ}い、娘に琴を習得_{シユブツ}させた。
- ② 俊蔭は娘に琴を大変上手に教えたので、帝と東宮の琴の師となるようにと声がかかった。
- ③ 俊蔭は死ぬ前に、娘に禍_{マガ}が起きたり災難_{サイナン}が降りかかったりした時にしが琴を弾いてはいけないと言った。
- ④ 俊蔭の死後、人々が俊蔭の家を壊して部材_{ブサイ}などを持ち去り、縁側_{エソバ}のない寝殿_{ネテン}だけが残った。

問八 「つっぽ物語」は、平安時代前期に成立した物語です。同じく平安時代前期に成立した作品として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 28

- ① 『伊勢物語』
- ② 『平治物語』
- ③ 『狄衣物語』
- ④ 『金葉和歌集』